

十三西中島で観察された生き物の記録

コース No.6

協力：地球館パートナーシップクラブ

種名とともに、状態を表す記号を付記した。

1: 葉、卵 2: 花、幼虫、幼鳥 3: 果実、蛹 4: 実生、成虫、成鳥 0: その他 植: 植栽

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

植物の種名は見つけた順に、また、動物は植物の後に、種名の前に・印をつけて記載した。

※2分の1地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の下に記載したNo.

は旧「みどり」と生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

ほぼ全域でみられた野草：アレチギシギシ、アレチハナガサ、オランダミミナグサ、カラスノエンドウ、シロツメクサ、セイタカアワダチソウ、セイタカヨシ、ナズナ、ミチタネツケバナ、ヨシ、ヨモギ

日時:2017年3月19日 10:00~14:35 天候:晴れ

調査者:北川ちえこ 中谷憲一 榎元慶子 松川欣二

一般参加者:7名(親子1組) 事務局:八木綾子

場所:阪急「十三駅」~淀川河川敷右岸~地下鉄「西中島南方駅」・マップNo.2,3,4

コメント:春の訪れを感じる暖かい日でヒバリの声もうれしそうに聞こえました。淀川右岸はまだまだ枯れ草ばかりでしたが、虫や鳥の巣跡がよく見えました。又、川や鳥が運んだと思われる種が育った色々な種類の樹木が見られ面白かったです。マイクロプラスチックの摂取を調べる為のカニの採集も、やる気万々のスタッフや参加者のおかげで何匹かを捕ることができ、本年度最後の調査は実りあるものでした。

